

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅲ		演習	岡田 誠暁・淡路 大致	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
2年生の前期後半に行われる観察実習を見据えて、作業療法士として障害を持つ対象者の特徴と生活について理解を深めることを目的とする。具体的には、対象者の動作や生活の様子の動画を観察して記録する。またそれがなぜそのような動作になるのか疾患・障害の学習を行いながら運動解剖学的視点や作業の視点から客観的記録を行い、そこから考えられる問題点やその評価の方法について実技を観察・模倣のプロセスをふんで学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 医療人・社会人として望ましい考え方・態度をとる事ができる。 2. 問題（課題）に直面した際に適切な解決方法が選択できる。 3. 観察・経験した内容について説明ができる。 4. 学習した過程・内容を他者に具体的に表現できる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 医療従事者・社会人としての心得			
2	グループワークの重要性について			
3	自己管理（セルフケア）能力について			
4	問題（課題）解決能力の向上について			
5	OSCE（バイタル測定／車椅子介助／コミュニケーション）			
6	SOAPと観察記録の書き方			
7	正常姿勢の分析（臥位・座位・立位）と記録 ①			
8	正常姿勢の分析（臥位・座位・立位）と記録 ②			
9	正常動作の分析（起居・移乗・歩行・車椅子駆動）と記録 ①			
10	正常動作の分析（起居・移乗・歩行・車椅子駆動）と記録 ②			
11	正常動作に関する確認テスト			
12	精神障害分野の観察・評価ポイント ①			
13	精神障害分野の観察・評価ポイント ②			
14	精神障害分野の観察・評価ポイント ③			
15	振り返り面談 観察実習オリエンテーション			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	30%	課題（記録ノート）で評価する。		
小テスト				
平常点	30%	授業への出席状況・参加態度（道具・材料の準備や後片づけを含む）で評価する。		
その他	40%	ポートフォリオ面接で評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				
授業の予定は、前後変更する可能性がある。変更の場合は随時通知する。				